

はじめに

津島市は、天王川の水利を生かした湊町や津島神社の門前町として発展した長い歴史を持ちながら、大都市近郊のまちとして、都市化が進展しています。その一方で、地域の食を支える田畑が郊外に広がり、尾張津島天王祭をはじめとする伝統文化、古い町並みや文化財といった歴史資産が多く残るなど、多様な住環境を有しています。



第4次津島市総合計画では、「～人を育み想いをつなぐ～ともにつくろう住んでみたくなるまち津島」を掲げ、市民の皆様と一緒にまちづくりを進めています。

環境のまちづくりとして、平成18年度から平成27年度までを計画期間とする「津島市環境基本計画」に基づき、「みんなで未来をつくろまい！」をキーワードにして、市民の皆様が主役となって、環境の保全につながる行動を行ってきました。

しかし、計画の策定から10年を経て、社会情勢の変化や地球温暖化等の地球規模の環境課題の顕在化が見られるほか、平成23年3月に発生した東日本大震災を契機として、地域の安全確保が強く求められるようになるなど、社会全体に大きな変化が起きています。

こうした状況を踏まえて策定する「津島市環境基本計画」では、社会情勢や環境課題の変化に対応すべく全面的な見直しを行ったほか、「持続可能で快適なまち」として目指すべき環境の姿を掲げ、津島らしさが生きた環境を実現するための施策を定めています。

私たちには、祖先から引き継いだ今ある環境を保全するだけでなく、自分たちの手でより良い環境にして次代に引き継ぐための知恵と行動が求められています。地域を担う市民、事業者及び行政がそれぞれの責任と連携・協働により、学び、行動していくことが重要であると考えておりますので、皆様のご理解とご協力、そして積極的な参画をお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり、ご意見をいただきました市民及び事業者の皆様、長期にわたり協議を通じてご助言やご提言をいただいた「津島市環境基本計画策定委員会」の委員の皆様、心からお礼を申し上げます。

平成28年3月

津島市長 日 比 一 昭